

9月14日、山田町内にてトビイロウンカ(秋ウンカ)の発生・坪枯れを確認しました。山田錦・ヒノヒカリなど中生～晩生の品種で、出穂時の本田防除をしていないほ場については、速やかに防除してください。

※山田錦・ヒノヒカリなど収穫まで7日以上ある場合
刈取りまで3週間以上ありますので、下記薬剤により防除してください。

農薬名	使用時期	使用量	使用回数
トレボン粉剤DL	収穫7日前まで	3～4kg/10a	3回以内

※コシヒカリ・キヌヒカリは、速やかに収穫してください。

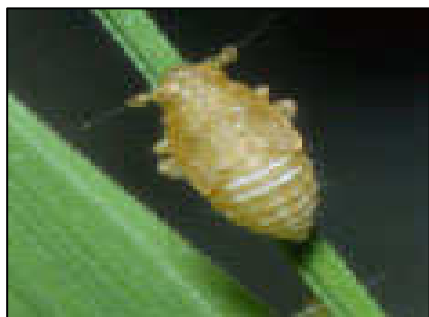
＜参考＞トビイロウンカ(秋ウンカ)の生態と被害のようす

日本では越冬できず、中国～東南アジアから飛来します。

ハネが長く黒っぽい体色(長翅型)と、ハネが短い褐色(短翅型)があり、株元で短翅型が急激に発生します。

株元に群がって汁を吸うため株が弱り、坪枯れ症状となり、放っておくと徐々に坪枯れの周辺に移動し被害が拡大します。

稲の株元がウンカの出す汁によって、黒くすすけていたり、白いカビが確認できます。吸汁跡は黒い斑点となり、株元の茎に多く確認できます。



トビイロウンカの幼虫



トビイロウンカの成虫(短翅型)



被害田(坪枯れ)

☆坪枯れをおこしている稲は等級落ちの恐れがありますので、区別するようにしましょう。

※ 農薬の使用前には必ず容器のラベルを確かめ、使用方法を誤らないようにしてください。

※ 粉剤を使用する場合、周辺の作物に飛散しないように注意してください。

お問合せ 神戸北営農総合センター
TEL:981-5540 FAX981-5817